牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく牛の特定部位使用許可申請等事務取扱要領に基づく申請手続き

(趣旨)

第1条 この手続きは、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく牛の特定部位使用許可申請等事務取扱要領（以下「要領」という。平成15年6月20日実施）の規定により、京都市と畜場（以下「と畜場」という。）内だと畜処理された牛の特定部位について、焼却する義務の免除を申請するに当たり必要な事項を定める。

(依頼)

第2条 牛の特定部位の使用を希望する者（以下「申請者」という。）は、要領第2条の規定による申請の前に、と畜場の管理者である京都市中央卸売市場第二市場長（以下「場長」という。）に対し、「牛の特定部位焼却免除申請書」作成依頼書（第1号様式）を提出するものとする。

(申請)

第3条 場長は、前条の依頼に基づき、要領第2条第1項に規定する牛の特定部位焼却免除申請書（様式第2号）を作成し、申請者へ交付する。ただし、申請者から申出があれば、同申請書については、場長が衛生環境研究所食肉検査部門に提出することができる。

(その他)

第4条 場長は、衛生環境研究所長から要領第4条に基づく牛の特定部位焼却免除許可書（様式第4号）の交付を受けたときは、申請手続き及び許可等の関係書類綴を設け、保管する。

附 則

この手続き基準は、平成15年6月20日から実施する。

附 則（令和3年3月29日）

この手続き基準は、決定の日から実施する。

「牛の特定部位焼却免除申請書」作成依頼書

(宛先) 京都市中央卸売市場第二市場長	年 月 日
依頼者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	依頼者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名）
	電話 — —

<p>牛の特定部位の使用に当たり、牛海綿状脳症対策特別措置法第7条第2項ただし書及び牛の特定部位使用許可申請等事務取扱要領第2条第1項の規定に基づく「牛の特定部位焼却免除申請書」の作成を依頼します。</p>	
と畜場の名称及び所在地	
申請目的	
特定部位の使用者名及び所在地	
特定部位の種類及び量	
その他	